令和8年度　ケアラー支援専門員設置事業
【南足柄地域研修会】アンケート結果報告

【開催日時】2026年11月9日（月）13：30～15：30
【開催場所】南足柄市役所　5階　大会議室
【参加者数】55名
【回答数】50
【回答率】91%

1.所属機関
表1：所属

所属機関名	人数	（%）
南足柄市役所	11	22%
南足柄市小学校・中学校	8	16%
南足柄市幼稚園・保育園	5	10%
児童相談所	4	8%
主任児童委員	4	8%
介護支援専門員	6	12%
相談支援専門員	4	8%
その他	8	16%
計	50	

その他：社協、ケアラー支援ボランティア団体、私立こども園他

2.参加動機　※複数回答あり

項目	人数
要保護児童対策地域協議会の構成機関のため	27
知識や支援スキルの向上のため	25
テーマに興味があった	14
多職種連携を深めたかったから	12
業務においてヤングケアラー(と思われる子)に関わったことがある	5

3.研修内容

①基調講演

ヤングケアラー支援の基礎

横浜創英大学　看護学部　教授　横山恵子氏

【とても参考になった：34名　参考になった：16名　どちらともいえない：0名　参考にならなかった：0名】

・何かやらなくては！ではなく、寄り添いでよいと聞いて変えられない現状に頭を悩ませるだけではなく何をすればいいのか少し分かりました。
・中学生高校生でも理解できる資料なので中高生へも講演するといいなと思いました。
・私達は受容と共感で対応するしかない。
・お手伝いとの違いが理解できました。

・クラスに1～2人という数に驚いた。子どもたちがSOSを求めやすい環境を整えたり、職員間で共有したりして支えられたらと思った。
・ヤングケアラー支援の基礎は私が地域の方々にケアラーについてお話する機会にはとても参考になり、活用していきたいと思います。わかりやすく勉強になりました。
・見えない家庭事情がたくさんある事を感じた。「隠しておきたい」「話をしてもどうにもならない」そうやって時を過ごしてきた人が多くいる中で、少しでも手をさしのべる、話しを聞いてあげる事が大切であり信頼関係の構築に向けたヒントというのはとても参考になりました。気持ちに寄り添っていきたいと思います。
・ヤングケアラーについて分かってよかったけれど、実際、助けてあげることが出来ないのがもどかしいと思った。
・時間がもっとあったら、ゆっくり話を聞けたら良かった。
・ヤングケアラーの定義など詳しく教えていただきありがとうございました。お手伝いとヤングケアラーの違いは難しく、はっきりとした線引きはなかなかできないと感じました。
・実態からヤングケアラーの現状を理解することができた。
・ACEの子どもが増えていると感じています。理由はないが不登校につながっているケースもあります。自分ができる役割を通して子どもとつながっていけたらと思いました。
・ヤングケアラーの年齢が18歳未満に加え概ね30歳未満になったことは初めて知りました。専門職は何かをしないといけないと思いがちでした。反省です。
・ヤングケアラーの支援は助けることではなく、誰も悪者にしない、子どもを守ることだということが印象に残りました。
・平易な言葉でわかりやすい話し方でしっくりと内容が入ってきた。
・ヤングケアラーについてより具体的に分かりました。そして、やはり社会がつくりあげたものがヤングケアラーを生んでしまったのではないかとも思いました。ヤングケアラーか？と思っている子がいるので、そーっと見守り「聞くよ」という支援者のムードを大切にしたいと思います。
・ヤングケアラーの基礎を知ることができた。またどういう関わりが良いのか、なぜ見つかりにくいのかが理解できた。
・情緒的なケアもヤングケアラーに含まれることを認識していなかったので、とても勉強になりました。
・相談しない理由の1つとして知られたくないというだけでなく、子どもにとっては日常であるということも理由の1つとして知りました。子どもの様子を日頃から見て気になることは見逃さず対応していきたいです。
・お子さんの支援をするために親との信頼関係を築くことが大切なのですが、親御さんが精神障害や発達障害のある方だと時間がかかります。子には気にかけてくれる大人の存在を増やす支援、親御さんには気軽に相談出来る人でいようと思っています。
・ずっと寄り添っていくことの大切さ。

②当事者の体験談
当事者としての体験談
精神疾患の親をもつ子どもの会こどもぴあ　スタッフ　ゆうか氏

【とても参考になった：37名　参考になった：13名　どちらともいえない：0名　参考にならなかった：0名】

・当事者の気持ちが心に残りました。
・お話ししてくれてありがとうございました。

・話すことも勇気が必要だったことと思います。ありがとうございました。
・いろいろなパターンがあることに気付きました。とてもやさしい声で素敵でした。なのでお話が聞きやすかったです。
・自分も似たことろがあり、支える大変さを思い出し、大人でも苦しかったので公的な支援が気軽に相談できるとよかった。ぜひコーディネートできるようにしたいと思った。
・言葉がけの難しさを感じて聞いていました。聞いた時に「たいへんだったネェ」と言ってしまう自分がいて聞いて言われた時、分かった気にならないようにして行きたいと思います。父母の中に精神疾患の親がいて悩んだことを思い出しました。
・体験を聞きながら自分の人生を振り返り、共感することがたくさんありました。介護について「えらいね」と言われることが子どもの頃から現在にいたるまでいやな気分になる事です。
・大げさにしすぎないで欲しいという言葉が印象的でした。こうやって話しをして下さった事に嬉しく思います。話しを聞いて「聞いてあげる」「気持ちに寄り添う」事を私自身も行っていきたいと思います。
・一言一言にゆうかさんの思いを感じました。ありがとうございました。
・実際に経験したことだからこそ話しの内容に臨場感があり説得力がある力強い話だった。
・話してくださりありがとうございました。
・本人の中に自覚があるかないか、軽度障害のある子に対する寄り添い方が難しい。
・当事者としてのお話はなかなか聴ける機会がなく貴重なお話をありがとうございました。
・当事者の体験から、様々な感情をくみとることが出来た。
・スクールカウンセラーにつなげたが「自分が困っていない」と面談が続かないケースが割とあります。見守り続けますが支援になるか・・・。ゆうかさんは学力があり学びへの意欲をお持ちでしたが、勉強がしんどい当事者は登校・進学・進路等、本当にあきらめモードです。でも言葉に寄り添って共に考えて行こうと思いました。
・父のことを悪く言わないで欲しいということが驚くこともあり、親を大切に思う気持ちは同じだと思えました。貴重なお話をありがとうございました。自分も子どもの頃に思っていたことがあり、分かると思う所もありました。
・実際の当事者の方の生の声はとても勉強になりました。当事者である子どもたちへの接し方が多様でありどう接していけばよいのか難しさも感じました。
・残念ながら話が聞き取れずざっくりとした雰囲気で理解をした。
・ありがとうございました。自分はみんなと違うのか？と思うことがありました。でも、今日のように経験を話してくださることが誰かの知識と勇気づけになると思います。これからもどうぞ続けてください。
・当時者の体験を実際に聞けることはないので、実際に感じたことを声に出して伝えてもらえてよかった。
・横山先生の話しを聞いた上で、ゆうかさんの体験談を聞くことで、どういうことなのか結びつけることができた。
・話しを聞くと対応しなければと思いがちだが「大げさにしすぎないで欲しい」という思いもあることを知り、まずは話を聞くこと寄り添うことを大切にしたいと思いました。
・「見せないように、理解されないと思って言えない気持ち」言葉に出来ない子、沢山いると思います。学校の先生に言うと大人目線のアドバイスを出されて言いたくないと思ったと言う子も多いです。お子さんのタイミングを待って、さりげなく支えられる支援者でいようと思います。
・テレビ以外で直接話しを聞くことが出来た。素敵な人柄で丁寧な話し方がとても聞きやすかった。
・本日は体験談をお話ししていただきましてありがとうございました。

③感想の共有

【とても参考になった：33名　参考になった：16名　どちらともいえない：0名　参考にならなかった：0名　無回答：1名】

・他職種の人とお話できてありがたかったです。
・立場の違う同士で話すことで思いつかなかったこともありためになった。
・ヤングケアラーに対しての皆さんの興味や思いが伝わるお話でした。
・それぞれの場での話しを聞く事が出来、参考になりました。
・様々な市の機関の人と話せる機会があることがありがたかったです。
・それぞれの立場の意見が聞けて参考になりました。傾聴支援の大切さを再確認できました。
・様々な立場の方からご意見を聞くことができた。
・それぞれの立場の方と意見を共有できたのはよかったです。
・いろいろな立場の方のそれぞれの意見は貴重。
・立場が違うと捉え方や考え方が違うんだなと思いました。その違いがプラスに出たりマイナスに出たりするんだなと感じました。（ヤングケアラーいないのでは？となって複雑な気持ちでした。）
・なかなか子どもに関わることはないが、他の家族と関わるときに家族全体を見れる視点とヤングケアラーかと感じたときにどこに相談するかをしっかり把握することで幅を広げていきたい。
・支援者の立場だとどうしても何かしなければという気持ちになりがちだが、対象者を見守る、話したいタイミングで聞いてあげられる体制を作れたらと思いました。
・違う所属の方（小・中だけでなく幼稚園の方など）とお話ができ意見を聞くことができてよかったです。
・多職種の方と意見交換が出来てためになりました。地域で温かい目で見ていけたらと思います。
・直接関わることがない、現場の方々の話が聞けてよかった。情報発信することで相談しやすい、話しやすい場があれば良いと思う。

④今後に役立つ内容であったか、研修のご意見

【大変役に立つ：32名　役に立つ：16名　あまり役に立たない：0名　役に立たない：0名　無回答：2名】

・お二人の話しを聞いて放置子などと比べて可視化が難しいと思いました。どうやって発見したら支援につなげられるのか家から出られる時間が少ない子を見つけるには・・・
・身近な大人としての接し方、声のかけ方など大変参考になりました。
・私たちは立場上「ヤングケアラー」という言葉や内容を知っているが、一般家庭保護者や子どもへのお知らせパンフレット（資料）等を作成しているのですか？
・ヤングケアラーは介護だけではないことを知れて良かったです。
・当事者の声を知り、支援者として何かしないと何ができるだろうという思いではなく、ただ話しを聞く、寄り添う、この人には何かあった時に話せる場所だということが伝わればよいのだと思えた。
・何かしなければと思っていた自分の気持ちがとても軽くなりました。
・コミニュケーションをもっと大切にしていきたいと思いますし安心できる場を作ってあげたいと思います。
・「話しを聞いてもらえると子どもが安心できるような大人」として、どのような声かけができるか考えるきっかけとなった。
・ヤングケアラーについて知る機会となりました。当事者のお話はとても深みのある心に響くお話でした。
・とても貴重な時間になった研修でした。最後の「何かをしようとしなければいけないのではなく寄り添っていくことが大切」

である言葉が印象的でした。一番大切にしなければいけないところです。目の前の子ども、保護者に寄り添っていきたい。
・地域の施設同士でエピソードとか互いに協力して出来ることとか話せる機会があるといいなと思いました。横のつながりを作りたい。
・とても参考になりました。自分も子どもの頃だれか1人でもみてくれる大人がいてくれるとうれしかったことを思い出しました。そんな人に自分もなりたいと改めて思いました。
・大変勉強になる研修会でした。ありがとうございました。
・日常業務の中でケアラーと出会った時、気をつけるべきポイントが理解できた。
・とてもよい経験になりました。いろいろな方の意見(業種別)が聞ける事は我々にとってよいことになったと互いに思います。
・ありがとうございました。
・一片だけを見てその人の全部がかわいそうと決めつけるのは支援者として間違っていると思いました。
・自身の対応を振り返ることができよかったです。今日の学びを今後の対応に生かしていきたいと思います。
・ヤングケアラーのお子さんが私のお客様に1割以上いらっしゃるので、とてもためになりました。「こどもぴあ」の存在を知らなかったので広めていこうと思います。
・話が聞きにくいところがあった。後ろの方だったので声が聞き取れないことがあった。

⑤今後希望する研修等

・実際の発見、支援事例を知ることができれば・・・
・今回は家族の介護とは異なる体験談でした。機会がありましたら介護経験者さんからのお話を伺えたらと思います。
・当事者のお話がとてもよかった。
・地域でできることってなんだろうといつも考えています。
・ケアラーという存在、または言葉をどう周知させていくか。またケアラーの方から本日のような体験談をしてほしい事、（どういう支援が必要か）など話が聞けたら良いと思う。
・短い時間でよいので意見交換の場が欲しいです。
・事例検討など、どのような支援や声かけができるのかを考えたい。
・子どもの気持ちに寄り添うこと！明日からあらためて実践したいと思いました。
・やはり実体験からの話は聞きたいなぁと思いました。大変だったねと言わず何と声をかけてあげたらとずっと考えています。大丈夫だよと寄り添う？
・実際の事例とか具体的に何が出来るのかを知れるといいなと思いました。
・またこのような研修があればよいなと感じました。(介護の方の意見、興味深かったと思います。)ありがとうございました。
・ヤングケアラーという言葉は広がってきたが、当事者の体験を聞く機会は支援にとても役立つと思います。
・今回は精神疾患の親でしたが、また別のケースも話を聞いてみたい。
・親御さんのための研修。支える側の研修。どこまでがヤングケアラーなのか具体的な例(少し深掘りした内容でケース的な)
・介護高齢者だけでなく色々な世代のケア支援を包括的にしていく様になると思います。今回の様に行政や幼児・小中高校生等の関係者で集まることは良いことと感じました。